

#### ④ 学校における合理的配慮の観点（障がい種別ごと）

本資料は、文部科学省「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）別表」を参考に作成したものです。  
下線部は愛媛県総合教育センターにおいて追加しました。

- ◆ここに示されているものは、あくまで例であり、これ以外は「合理的配慮」として提供する必要がないということではありません。
- ◆複数の障がいを併せ有する場合には、各障がい種別に例示している「合理的配慮」を柔軟に組み合わせ検討しましょう。
- ◆記載していない項目についても、「合理的配慮」として提供する必要がないというものではありません。一人一人の障がいの状態や教育的ニーズ等に応じて検討しましょう。

## ④ 学校における合理的配慮の観点（障がい種別ごと） 聴覚障がい

※文部科学省「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）別表」を参考に作成したものです。下線部は愛媛県総合教育センターにおいて追加しました。

### ①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮

#### ◎聞こえにくさを補うことができるようにするための指導を行う。

- ・補聴器等の効果的な活用ができるように指導を行う。
- ・相手や状況に応じて適切なコミュニケーション手段（身振り、簡単な手話等）を活用できるように指導を行う。 等

### ①-1-2 学習内容の変更・調整

#### ◎音声による情報が受容しにくいことを考慮した学習内容の変更・調整を行う。

- ・外国語のヒアリング等における音質・音量調整をする。 ・学習室の変更をする。
- ・文字による代替問題を用意する。
- ・球技等運動競技における音による合図を視覚的に表示する。 等

### ①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮

#### ◎聞こえにくさに応じた視覚的な情報の提供を行う。

- ・分かりやすい板書をする。 ・教科書の音読箇所的位置を明示する。
- ・要点を視覚的な情報で提示する。 ・身振り、簡単な手話等を使用する。 等

#### ◎聞こえにくさに応じた聴覚的な情報・環境の提供を図る。

- ・座席の位置を配慮する。
- ・話者の音量調整をする。
- ・机・椅子の脚のノイズ軽減対策（使用済みテニスボールの利用等）をする。
- ・防音環境のある指導室を活用する。
- ・FM式補聴器等を活用する。 等

### ①-2-2 学習機会や体験の確保

#### ◎言語経験が少ないことによる、体験と言葉の結び付きの弱さを補うための指導を行う。

- ・話合いの内容を確認するため書いて提示する。
- ・慣用句等言葉の表記と意味が異なる言葉の指導を行う。 等

#### ◎日常生活で必要とされる様々なルールや常識等の理解、あるいはそれに基づいた行動が困難な場合があるので、実際の場面を想定し、行動の在り方を考えることができるように指導を行う。

### ①-2-3 心理面・健康面の配慮

- ◎情報が入らないことによる孤立感を感じさせないような学級の雰囲気作りを図る。
- ◎通常の学級での指導に加え、聴覚に障がいがある幼児児童生徒が集まる交流の機会の情報提供を行う。

### ②-1 専門性のある指導体制の整備

- ◎特別支援学校（聴覚障がい）のセンター的機能及び難聴特別支援学級、通級による指導等の専門性を積極的に活用する。また、耳鼻科、補聴器店、難聴児親の会、聴覚障がい者協会等との連携による、理解啓発のための学習会や幼児児童生徒のための交流会の活用を図る。
- ・巡回相談や専門家チームを活用する。
- ・定期的にケース会議を持ち、情報共有するとともに必要な合理的配慮について検討を重ねる。 等

### ②-2 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮

- ◎使用する補聴器等や多様なコミュニケーション手段について、周囲の幼児児童生徒、教職員、保護者への理解啓発に努める。
- ・関係する教職員が集まって情報交換会を行う。 ・保護者対象の研修会を行う。
- ・関係者が集まって支援会議を行う。
- ・教職員や保護者向けの書籍・教材を購入・貸出しをする。 等

### ②-3 災害時等の支援体制の整備

- ◎放送等による避難指示を聞き取ることができない幼児児童生徒に対し、緊急時の安全確保と避難誘導等を迅速に行うための校内体制を整備する。

### ③-1 校内環境のバリアフリー化

- ◎放送等の音声情報を視覚的に受容することができる校内環境を整備する。
- ・教室等の字幕放送受信システムを整備する。 等

### ③-2 発達、障がいの状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮

- ◎教室等の聞こえの環境を整備する。
- ・じゅうたん・畳の指導室を確保する。
- ・行事における進行次第や挨拶文、劇のせりふ等の文字を表示する。 等

### ③-3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮

- ◎緊急情報を視覚的に受容することができる設備を設置する。